



## 令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

<p><b>自己評価の理由</b> ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。</p>	<p>○養成研修に8名の研修生を迎えることができ、研修終了後には受け手の人数が増え、これまでよりも多くの子どもたちの電話を受けることができる。 受け手が増えることで、電話を受ける現場に余裕が生まれ、難しい内容にもより丁寧な対応が期待でき、子どもたちを確実に支えることにつながる。</p> <p>○公開講座では、いじめの被害者を具体的にどのように支えるのかという内容が参加者に受けとめられ、感想には「実際にやってみようと思う」という内容が複数あった。一般からの参加はほとんどが子ども支援関係者だったので、それぞれの子ども現場で活かしていけると期待できる。</p>
<p><b>今後の課題・抱負</b></p>	<p>○子どもたちは電話よりもオンラインチャットを選ぶ傾向にあり、研修生には電話での実践を積んで、件数の増えているオンラインチャットの受け手にもなってほしい、より多くの子どもを支えたい。</p> <p>○公開講座の内容が参加者に大変好評だったので、もっと多くの参加があればよかったと思う。一般の参加者を増やすために広報に力を入れていきたい。</p>

### 活動状況について



公開講座(2月9日)

～子どもの命を守るためにおとなにできること～ いじめ、見えていますか？